

第四十二回定時総会に
当たり
会長 石川 喜一郎



「花の命は短くて」今年の桜は晩冬の影響で早咲きかと思いましたが、「寒」に戻ったような寒い日が続きました。天候に左右されやすい私達には凌ぎにくい春の訪れでした。

皆様には日頃の節制管理がよくお元気に御出席頂きました。安藤・杉山両先生の御出席も頂いて、ここに第四十二回定時総会が盛会裏に挙行出来ますことを、皆様と共に喜び申し上げる次第でございます。

今回は来賓の先生のご都合で順序が変更となり、先ず堀威夫先生から面白い楽しい人生を送るには、如何にしたらよいか「人生三毛作」を実施して怒らないという自己改善のご披露、重本先生の平均寿命国際比較と食生活のご説明があり、有意義な総会になりました。両副会長の司会で議事に入り各行事とも、円滑な進行ぶりにご承認を頂き無事終了致しました。今後とも会としても積極的に活動し皆様と共に健康で長寿をめざし、日々明るくすごして参りたいと存じます。

鈴森会総会
通院二十年謝辞
間瀬 栄一



只今、ご紹介戴きました間瀬栄一でございます。

私が、糖尿病の宣告を受けたのは、二十四年前のことです。最初の四年間は、自宅近くの病院で治療を受けていました。そこで糖尿病の為に具体的な指導や教育は行われず、小冊子を渡されただけでした。私自身も糖尿病に対する認識が甘く、食事に気を付けているつもりでしたが、今思えば従来と変わらない生活が続けていました。そのうち、体重が徐々に減って来ましたが、食事制限の成果だろうと勝手に解釈して居りました。七十kgを割るようになった頃、知人から鈴森内科クリニックの話を聞き、是非治療して貰うようにと、強く奨められました。クリニックに通院を始めてからは、食事療法について、食品交換表の見方について、運動療法について、合併症の恐ろしさについて、色々と御指導を戴き、そのカルチャーショックは、大変なものでした。特に食事療法については、私一人では手に負えず妻と二人で教わりながら、食事表を提出しましたが、毎回厳しく指導されました。因みに当時の診療手

帳に記載されているHbA1cは12.8%でした。

あのショックから二十年の時が過ぎました。今、私は血糖コントロールは優等生ではありませんが、元気に生活しています。

より良き先生方にめぐり会え、治療を受けられたこと、そしてクリニックのスタッフの皆様のお世話になったことなど、多くの皆様の御指導とお力添えにより、今、元気で居られることを感謝し、心からお礼申し上げます。

今迄の二十年よりも、今後の十年の方が厳しい状況になると思いますが、今後引き続き、従来通りの御指導及び治療をして下さいますように宜しくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

鈴森会総会
通院十周年の謝辞
萩原 宏人



紹介をいただきました萩原です。通院十周年の謝辞を若輩者の私が承ることを僭越至極に存じます。ここで通院十周年の皆様を代表いたしまして改めて御礼を申し上げます。

鈴森クリニック創設の亡き鈴森先生、そして重本両先生・看護師の皆様・医療事務の皆様、本当にありがとうございます。

ございます。心より御礼申し上げます。

さて、私の十周年を振り返るお話をお聞きいただければ幸いです。

鈴森内科クリニックにお世話になりはじめたのは、平成九年十月二十八日であります。すでに三十五歳になり人間ドッグへ行き、自覚症状もかなりあったので、担当医より進行した糖尿病であると宣告を受けました。そこで紹介を受けた病院で短期の体験入院と食事療法の指導を受け、治療をし、少しよくなりましたが退院後もなく、朝から深夜遅くまでの仕事と私の軟弱な性格とさらに暴飲暴食という甘い誘惑に負け、さらに悪化した状況となりました。

そこで改めてご紹介いただいたのが、こちらの鈴森内科クリニックでした。

十年前といいますが、皆様も多くの方がご存知であるようにやる気のない患者には厳しく指導し、怒る鈴森先生に治療ご指導いただきました。

そして、現主治医の重本両先生には、糖尿病のご指導は当然それ以外でも様々な病気に治療とご心配いただき非常にお世話になっております。

外科手術・肺炎・腎臓結石などそのつど手配いただきました。両先生もご存知ですが、患者としての私はやはり意志の弱い人間です。ご指導いただいている体重コントロール、カロリーを守った食事、食後の運動などなかなか指導を守りきれないのが実情です。ゆえにヘモグロビンA1C

は、先日やつと7%後半になった程度です。

さて、この場でこの病氣と歩み元気に生きている皆さんとお会いし、この十周年表彰を機に、私は改めてここに固い意思をもつてこの病氣と歩んでいくことを決意いたしました。皆様も元気で長生きの精神でこの病氣とじっくりと歩んで下さい。

最後に今後の鈴森会の皆様と指導医である先生、いつも温かく看護して下さる看護師の皆様、いつもいろいろな便宜を図っていただく医療事務の皆様のご健康と更なる幸福・発展がありますように、お祈りさせていただきます。

本日にありがとうございます。

久し振りにブロック会に参加して
樋垣 芳徳



二月二十四日のブロック会は、クリニック待合室にて開催され、ビデオ内容は更新され、内容は充実し適度のお笑いを盛り込んだ大変理解し易いものでした。先生の情熱のこもった優しく解説される姿に接し深く感銘致しました。先生は、患者一人一人の状態を常に把握し対処

